



東公民館

ふれあい米作り

北伊予小学校教諭 西川 匡

北伊予小学校では、約8年前から5年生の総合的な学習の時間に、「米作り」をテーマとした学習を展開しています。

今年も北伊予中学校のすぐそばの休耕田をお借りして、もち米を栽培しています。これは、収穫したもち米を使い、地域、保護者、老人会の方と子どもたちが、もちつきをすることを通して、日本の伝統行事について学習を深めるとともに、多くの方に感謝の気持ちをもち、楽しくふれあうことを目的としているからです。

初めは、当時のPTA役員の方を中心に田植え、稲刈り、もちつき大会の指導とお世話をしていただきました。数年前から、この活動がさらに発展し、鶴吉生産者組合の皆さんのご協力も得られるようになり、専門的なご指導を受けることができるようになりました。

今年度は6月12日に田植えを行いました。鶴吉生産者組合、公民館や地域の方々、P



TA役員や保護者など多くの皆さんが参加してくださいました。

前日は予想外の大雨で、手植えするには、田の水かさが高すぎました。すかさず、鶴吉生産者組合の方が、水を抜くためのあぜを切ってくださいました。その後も手際よく田定規を引くための段取りをする様子を、子どもたちは真剣に見学していました。

鶴吉生産者組合の方が、子



どもたちに手植えのこつと留意点を説明してくださいました。その中で、「わしは、いい加減な仕事はしたくない。するんなら、先々の段取りを考えたきちんとした仕事をした」というお話をされました。この「先を見越した段取り」という言葉は、米作りに限らず、国際化、多様化、流動化する社会に通用する「生きる力」を子どもたちが身に付けるための重要なポイントだと思います。

子どもの感想文には、「地域の方とふれあい、学んだ楽しい貴重な体験だった」とことや「地域の方々への感謝の気持ち」とともに、「農家の方の仕事の手際よさへの感動」や

「伝統的な手植えに必要な知恵と段取り」が書かれており、とても有意義な活動であったことを再認識しました。

今後は、自分たちの見えなところまで水田を管理してくださっている方々の具体的な作業や労力をしっかり子どもたちに伝え、自分たちにできる観察や世話を責任をもってやり遂げるようにしたいと思います。そして、実りの秋の収穫を、感動をもって迎えたものです。

今年も晩秋の学校の中庭に子どもたち、老人会、地域、保護者の方々のもちつきの威勢の良い声が響き、素敵な笑顔が広がりますように……。



公民館の8月行事予定

東公民館

- 9日(土) 9時30分、第3回 囲碁教室
- 19日(火) 13時30分、第2回 高齢者大学

西公民館

- 6日(水) 19時30分、親子スポーツ大会 打合わせ会
- 20日(水) 13時30分、第3回 高齢者教室

北公民館

- 7日(木)・8日(金) 石のアーチ
- 12日(火)・13日(水) ガチャポンアーチ
- 28日(木) 13時30分、寿大学③
- 31日(日) 8時、親子球技大会